

委員会視察報告書

委員会名	議会運営委員会
視察地	埼玉県所沢市
調査項目	議会機能強化（議員間討議・政策調査）
調査目的	先進的な議会運営を目指して
日時	令和5（2023）年10月18日 午後1時30分～3時
場所	所沢市議会（所沢市役所 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1）
調査概要	所沢市議会のこれまでの議会改革等の取組から、現在の議会運営における先進事例を検証・研究した。 ●所沢市の概要 ・1950年（昭和25年）市制施行。 ・人口 343,982人（県内4位） 面積 72.11 km² ・埼玉県の南西部に位置する中核都市であり、特例市に指定されている。航空発祥の地。狭山茶が名産（日本三大銘茶）。埼玉西武ライオンズの本拠地で西武ドームがある。 ・市のイメージマスコット＝トコロん <u>市議会＝みみ丸</u> ●調査項目及び内容 1. 議会運営について 「所沢市議会がこれまで取り組んできた以下の改革等について、資料に基づき説明をいただいた」 ・議会基本条例の制定 ・専門的知見の活用 ・議会審議における論点情報の形成（統一フォーマットの資料） ・一問一答方式の導入（現在は一括方式はほとんどない） ・議会事業評価、議会改革評価（H21.6～年度末に実施） ・議会基本条例の見直し手続（随時、規定を見直す） ・閉会中の文書による質問 ・自由討議について（H21.9～） ・議場モニターの設置 ・参考人招致について

	・公聴会、意見提案手続について ・附属機関の設置 ・ICT化の推進 ・予算常任委員会の設置 ・議会改革に関する特別委員会の設置 ・オンライン会議システムの導入について ・所沢市議会災害等対応マニュアル、議会機能継続計画（BCP）の策定 ・議会基本条例の見直し手続 ・通年会期制の導入に向けた協議、取組 2. 広聴広報について 「前項と同様、広聴広報における改革の取組について、資料に基づき説明をいただいた」 ・広聴広報委員会の設置 ・議会報告会の開催（オンラインによる） ・政策討論会の開催について ・みみ丸カフェの開催 ・高校生との意見交換会（とこ高カフェの開催） ・所沢市議会公式 YouTube チャンネル開設 ・インターネット中継（ライブ配信）に AI 字幕導入 ・ところざわ市議会だよりの充実（リニューアル）と全戸配布の開始
視察の様子	 全体写真

	説明の様子
質 疑 応 答	事前質問 1 議員間討議における工夫、論点整理、意見集約はどのようにしているか。 回答 各会派から修正案の提出についてお願いをしている。その後自由討議を行っている。合意形成を図る上で、自由討議は重要な位置付けであり、討議を経て議会側は修正案を作っている。各委員会の中では、通常的に自由討議を求めている。(※議案に対する修正案は頻繁に出されているとのこと) 事前質問 2 政策調査から、これまでどのような成果があったか。 回答 政策研究審議会（学識経験者による外部委員）を活用し、専門的知見による政策研究を行っている。また、政策討論会（議会と市民との意見交換を含む）を実施し、重要政策に対する論点整理を行い、政策形成サイクルへの反映、政策提言と決議に向けた活用を行っている。また、正副委員長連絡会議でも専門的知見を活用して議論を行っている。 政策調査はどの機能を使うのか、その都度、選択をしている。 事前質問 3 議会評価について（導入経緯、効果と課題など） 回答 議会として自己評価を行っている。きっかけは平成21年に当時の議会運営委員長が「議会改革評価表」を作成したことによる。その後、平成26年に、「議会改革に関する特別委員会」を設置して現在に至っている。議会と市長（当局）は、融和よりも緊張感のある関係性であり、議会の独自性が優先されている。

事前質問 4

新人議員の育成について

回答

この5月から1／3が新人議員となった。また同時に一人会派が増えた。新人議員に対しては、議会基本条例をきちんと理解してもらえるように説明の場を設けて対応している。議会としては、新人議員のスキルが不足しているため、研修・教育が必要だという認識を持っている。例えば、広聴広報の政策討論会などにおいて、できるだけ新人議員の出番を増やすようにしている。

事前質問 5

事務局体制の強化について議会での議論があったか。あれば、その観点、具体例は。

回答

自身（大石議員）が議長の際に、事務局職員を1名増員している。現在の通年議会制を採用する際に、事務局に負担が掛かってくるといった議論はあった。また、議会改革を進めていく中で、本日説明したような様々な新しい取組を行っていけば、議会事務局にも相応の負担が掛かってくるといった議論は、この間ずっとしてきている。

現在は、14名の職員が配置されている。

当日の質問

議会が行う修正案について。

議案に対する議論が活発にされており、修正案も頻繁に提出されているとの説明があった。その中で、市の最上位計画である所沢市総合計画に対しても修正をかけているようだが、修正するには、当局、審議会等に差し戻さなければならないと思う。

議会としての考え方、対応はどのようなになっているか。

回答

所沢市総合計画を策定する段階において、市長個人の考え方や価値観のようなもの、そうした表現が多く計画に入っていると市議会では評価している。そこに異論がある、おかしいということで、議会として修正をかけた。結果として全会一致で修正案が通った。その際の議会側の説明（認識）としては、総合計画の素案に対して、市民参加で策定されていないとの意見を付した。

委員会所感	【持田副委員長】 議会運営委員会委員長粕谷氏から議会運営・改革について説明を受け、前議長の大石氏、議会運営委員会副委員長末吉氏の御出席の下、これまで経験したことのない、ざっくばらんな懇談の場にもなった。議会基本条例制定時の特徴として、「専門的知見」の活用によって、条例素案に係る「公聴会」を実施している点は先進的である。さらに、「専門的知見」を活用して、いくつかの調査委託をも実施している。これらの関係資料を提供していることは、「開かれた議会」を垣間見る思いである。「改革」の資料集から学ぶべき点も多数あると感じる。 【布施委員】 討議については委員会中の自由討議は非常に参考になりました。自由討議のため関連するようなことも引き合いに出しやすく、また疑問点等も幅広く聞くことができるため非常に有用性のあるものと感じました。また、政策調査については法大の教授が所沢に住んでいることもあって政策審議会条例もあり議会と大学等研究機関等の連携を通じて議会機能の強化を図っている点は地理的な状況や大学の教授がお住まいだということもあり都心に近いベッドタウンならではの説明であったがやはり先進自治体議会には大学等の研究機関と連携をとり一歩先行く議会となっていたため当市としても参考とさせていただきたい。 【佐藤正典委員】 所沢市議会では議会運営・議会改革において、たゆまぬ努力を続けてきていることをまずもって感じた。その一つとして議員間討議（自由討議）が活発に行われていることである。議会としての合意形成を図るために、議員間の自由討議を重要な位置付けとし、通常的に行われている。その結果として修正案が頻繁に提出されていることは、議会と行政当局との良い意味での緊張感につながっている。政策研究審議会（外部委員）や市民との政策討論会を活用して、政策提言と議案決議に結び付けていることは、所沢市議会の「議会力」の底上げにつながっている。今後の議会運営において、大いに参考となった。 【近藤委員】 所沢市議会では、「自由討議」として議員間討議が定着し、円滑な審査に寄与していることを確認した。柏崎市議会でも、委員会審査等で議員間討議を十分機能させられるよう参考にしたい。また政策調査では、外部有識者4名で構成される「政策研究審議会」を設置し、重要案件を諮問している。政策立案にお
-------	---

いて効果は高いと考えられる。柏崎市議会でも各委員会での調査研究等において、必要に応じて外部有識者の知見を得て、質の高い審査や提言につなげられると良い。

【三宮委員】

所沢市議会へは令和2年に広報広聴委員会で視察しており2回目の訪問となった。令和2年の際も議会改革の一貫としての広報広聴機能の説明を受けたが、その際にも所沢市の自由討議(議員間討議)について興味を引いた。資料を拝見するに議員間で活発な討議がされており、柏崎市議会でも学ぶべきと考える。

【佐藤和典委員】

この度も含め、行政視察において実際の議員間の討議の仕方を調査すれば、柏崎市議会は、保守的過ぎるのかどうかは分からないが、議員間討議が他の区市町村議会と比較して活発ではないと考える。委員会審査から、各議員がどんどんと討議することにより、議会が活性化できる。同時に新人議員や期の浅い議員にとっても知見が積み重なり議員としてのレベルアップにつながってくると思う。それは、その議論を聞いている当局職員においても然りである。そういった意味では私自身も積極的に議員間討議を仕掛けていきたいと考える。一方、政策研究審議会も良い機関であり、柏崎も研究する価値はある。

【星野正仁委員】

視察項目は、議会機能強化(議員間討議・政策調査)です。先進的な議会改革の取組について資料を基に説明を受けました。その中でも特に議会審議において統一フォーマットによる資料提出を平成21年から始めていること。議会事業評価として所管事項の自己評価を行っていること。「目的として自己評価の達成度の明確化」。基本条例の改定時に専門的知見の活用。自由討議の運用と実績。独自の政策研究審議会「常設型の附属機関(政策研究審議会条例)4名の委員(1回の費用は1名7,900円)から専門的知見を活用している。ICT化では、AI字幕を導入して、ろうあ者へ対応している。今後は、通年会期制導入に向けて取り組んでいく。要点の紹介でしたが先進的な取組の説明を受け柏崎市議会での今後の取組に活かしていきたいと考えます。

【真貝委員】

所沢市議会では、議員間討議を活用して、議案の修正等を行っている。議会の意思を明確にすることにも活用している。議員が自らの意見を表明し議会として取りまとめる作業を行ってい

	ることは大いに評価できる。 精査調査に関しては、柏崎市議会もほぼ同じように機能を持っているが、所沢市議会のような附属機関は有していない。また、調査研究において専門的知見を参考にするために参考人制度を有効に活用している点は柏崎市議会でも活用してもよい。議会として自己評価を行っている議会事業評価は、研究の余地があると思う。
--	--